

多様な形態で「朔太郎の世界」を味わう 萩原朔太郎大全 2022 プレスリリース 第三弾



1 映画「天上の花」(2022年・125分)

萩原朔太郎の長女・萩原葉子の同名小説「天上の花―三好達治抄―」の映像化作品。1966年の発表から56年を経て、没後80年「萩原朔太郎大全2022」記念映画として製作。萩原朔太郎を師と仰いだ詩人、三好達治と朔太郎の美しい妹、慶子との愛憎の物語の行方は…。

公開日 12月9日より新宿武蔵野館、ユーススペース、池袋シネマ・ロサ、アップリンク吉祥寺ほかにて全国順次公開

出演 東出昌大、入山法子、有森也実、吹越満、萩原朔美ほか

監督 片嶋一貴(「いぬむこいり」2017)

脚本 五藤さや香、荒井晴彦

プロデューサー 寺脇研、小林三四郎

製作 「天上の花」制作運動体

2 朔太郎と群馬の詩人を歌う

詩作だけでなくマンドリンをはじめ、音楽も愛した朔太郎。これにちなみ、「文学とフォーク」「ミュージック・ミュージアム」の2つのコンサートを開催します。

内容 ①文士の作品に曲をつけて歌う「文学とフォーク」

②朔太郎をめぐる“ミュージック・ミュージアム”

日時 ①11月27日(日)14時

②12月4日(日)15時30分

会場 群馬県立土屋文明記念文学館

出演 ①世田谷ピンポズ②西田直嗣他

定員 ①100名 ②70名

申込 往復はがきまたは専用サイトより



3 マジック実演付き講演会

「朔太郎、龍之介、ときどきマジック？」

『月に吠える』『青猫』の2つの詩集で口語自由詩を完成させたと目される萩原朔太郎。その詩の原理と趣味であったマジックについて、また、芥川龍之介と田端文士との関係性などを紐解きます。朔太郎が得意としたマジックとは!?

日時 12月11日(日)

会場 田端文士村記念館多目的ホール

講師 劇作家、マジシャンの顔を持つ文学研究者 栗原飛宇馬

定員 50名(応募多数の場合抽選)

申込 往復はがきまたは専用サイトより(11月21日(月)必着)

4 記念図書『萩原朔太郎大全』

朔太郎没後 80 年の節目の年に刊行する、朔太郎の魅力を余すところなく伝える一冊です。朔太郎の詩やアフォリズム、エッセイも掲載し、朔太郎の文章そのものを楽しむことができるよう編集。第一詩集『月に吠える』初版無削除本をはじめ、300 枚を超える図版に加え、『月に吠えらんねえ』で人気の漫画家、清家雪子さんや「月に吠える」楽曲制作のヨルシカ・n-buna さん、芥川龍之介賞、萩原朔太郎賞受賞の松浦寿輝さんなど、20 人を超える豪華顔ぶれによる寄稿で読みごたえ抜群です。

書誌情報

朔太郎大全実行委員会 編

A5 判・並製・カバー装・288 頁

ISBN 978-4-394-19031-8 C0095

価格 2,640 円(税込)

発売日 11 月中旬より全国書店にて販売



参加施設・開催内容等

	施設・団体名	タイトル	会期
1	北海道立文学館	ふみくらの中の朔太郎	10. 29～12. 25
2	井上靖記念館	井上靖と萩原朔太郎	10. 1～1. 9
3	市立小樽文学館	萩原朔太郎と伊藤整-〈若い詩人〉の憧憬-	9. 3～11. 3
4	石川啄木記念館	石川啄木と萩原朔太郎	9. 27～1. 22
5	日本現代詩歌文学館	萩原朔太郎に捧げる詩歌	10. 1～10. 31
6	白鳥省吾記念館	萩原朔太郎-省吾と同時代の詩人-	8. 2～1. 29
7	いわき市立草野心平記念文学館	萩原朔太郎大全 2022-詩の岬-	10. 8～12. 18
8	共愛学園前橋国際大学	朔太郎が紡いだもの	10. 1～10. 31
9	群馬県立土屋文明記念文学館	私の同郷の善き詩人	10. 8～12. 18
10	群馬県立図書館	萩原朔太郎大全 2022 連動企画 萩原朔太郎展	9. 30～11. 23
11	群馬県立歴史博物館	萩原朔太郎の生きた時代	10. 8～12. 4
12	群馬県立近代美術館	「萩原朔太郎大全 2022」連携展示 詩とイメージ-司修作品を中心に	11. 1～12. 21
13	群馬県立文書館	前橋藩から朔太郎へ-母方八木家と藩士諸家の文書展	8. 6～12. 25
14	太田市美術館・図書館	萩原朔太郎大全 2022	9. 28～10. 23
15	さいたま文学館	朔太郎大全 in さいたま文学館	11. 30～12. 25
16	市川市文学ミュージアム	月に吠えらんねえ展-ようこそ! おもひ まぼろし ことだまの街へ-	10. 8～12. 11
17	公益財団法人日本近代文学館	萩原朔太郎大全 (仮)	12. 3～2. 11
18	世田谷文学館	月に吠えよ、萩原朔太郎展	10. 1～2. 5
19	竹久夢二美術館	夢二をとりまく人間関係 交流から生まれた美と言の葉	10. 1～12. 25
20	東京都北区立中央図書館	田端文士とキーン先生-萩原朔太郎-	11. 1～2. 5
21	田端文士村記念館	朔太郎・犀星・龍之介の友情と詩的精神-タバタニサクタロウキタリ-	10. 1～1. 22
22	大田区立郷土博物館	萩原朔太郎と馬込の文士たち	9. 27～12. 11
23	公益財団法人大田区文化振興協会	『馬込文士村空想演劇祭 2021』日本のラジオ『ヨビゴエ』-萩原朔太郎詩集「月に吠える」「青猫」より-	11. 1～11. 14 オンライン配信
24	慶應義塾大学アート・センター、三田文学会	シンポジウム 萩原朔太郎と詩の未来	10. 22
25	大正大学附属図書館	萩原朔太郎大全 in 大正大学 萩原朔太郎-周辺の人々を通して-	10. 3～12. 23
26	「天上の花」製作運動体	映画「天上の花」	公式 HP 参照
27	四季派学会	四季派学会冬季大会	11. 26
28	明治大学理工学研究科総合芸術系	朔太郎と歩く	12. 1～12. 24
29	鎌倉文学館	朔太郎とカマクラ	10. 2～12. 23
30	小田原文学館	小田原時代前後の白秋とその周辺 没後 80 年目の回想	10. 27～11. 27
31	ドナルド・キーン・センター柏崎	ドナルド・キーンが語る萩原朔太郎	10. 1～10. 30
32	室生犀星記念館	朔太郎没後 80 年・犀星没後 60 年記念 詩の双生児-君は土、彼は硝子-	7. 16～11. 6
33	金沢美術工芸大学	萩原朔太郎×恩地孝四郎	10. 3～12. 27
34	福井県ふるさと文学館	師・萩原朔太郎と三好達治	10. 1～1. 9
35	山梨県立文学館	萩原朔太郎 芥川龍之介への手紙	10. 4～11. 30
36	堀辰雄文学記念館	萩原朔太郎没後 80 年 萩原朔太郎と堀辰雄	10. 14～12. 27
37	軽井沢高原文庫	文学のふるさと・軽井沢-朔太郎、犀星、龍之介、辰雄……	10. 14～11. 30
38	焼津小泉八雲記念館	HOURAI 八雲と朔太郎が見た日本	10. 8～1. 17
39	愛知大学豊橋キャンパス	丸山薫と萩原朔太郎-丸山薫あて、朔太郎書簡の里がえり	10. 3～12. 2
40	弱法師	青き月光のたましひ 詩人・萩原朔太郎。	11. 8～11. 20
41	古美術近藤		
42	公益財団法人 吉備路文学館	吉備路近代文学の 7 人展-生誕・没後記念	11. 13～2. 26
43	永瀬清子展示室	詩人の系譜-萩原朔太郎から永瀬清子へ	12. 9～3. 26
44	中原中也記念館	萩原朔太郎と中原中也	10. 26～11. 27
45	菊池寛記念館	永遠の漂泊者-萩原朔太郎	10. 1～11. 6
46	坂出市万葉会館	萩原朔太郎と詩友 中河与一 ～狭岑の島を訪ねて～	10. 1～30 の土 日祝
47	壺井栄文学館	80 年の時を経て小豆島で繋がった 4 人の作家	10. 1～1. 10
48	北原白秋生家・記念館	白秋と朔太郎の世界-朱欒から朱欒へ-	11. 1～3. 31
49	くまもと文学・歴史館	煩悶と運命-朔太郎と熊本ゆかり-	10. 14～12. 5
50	アーツ前橋	萩原朔太郎大全 2022 朔太郎と写真	11. 19～3. 5
51	前橋市立図書館	いつか私は詩人朔太郎に出会う運命にあった-前橋市立図書館と渋谷国忠-	10. 1～1. 15
52	前橋文学館	そこに何をみたか-萩原朔太郎研究会 58 年の軌跡 萩原朔太郎歴代研究会長展	10. 1～1. 15

企画概要

- 1 企画名 萩原朔太郎大全 2022
- 2 会期 2022年10月1日～2023年1月10日(中心会期)
- 3 主催 朔太郎大全実行委員会
- 4 共催 開催各館、前橋市
- 5 後援 前橋市教育委員会、前橋市文化協会
- 6 協力 公益社団法人日本文藝家協会、全国文学館協議会、萩原朔太郎研究会、萩原朔太郎賞の会、東和銀行、株式会社新潮社、前橋文学館友の会
- 7 協賛 株式会社ジズホールディングス・朝日印刷工業株式会社
- 8 概要 詩人・萩原朔太郎の没後 80 年にあたる 2022 年、朔太郎を介した企画展「萩原朔太郎大全 2022」が全国 52 か所の文学館や美術館、大学等で開催されます。本企画は自筆原稿や写真をはじめ朔太郎に関する資料とその他の知的情報を各館で交換し、共にPRを図り、それぞれ特色ある展覧会を同時多発的に全国各地で開催するというものです。分野を越えてこれほど多くの施設がそれぞれ独自の角度で同時期に朔太郎を展観する試みは、これまでに例がありません。本企画は全国的なネットワークで朔太郎を「共有する」ことの意義を感じ得る貴重な機会であり、また「言葉」の新しいあり方を創出するきっかけとなることでしょう。
なお、テーマ・規模・展覧会期は各館の事情に合わせて、上記2の会期に重複する形で開催されます。(例:2022年9月から2022年10月まで、同年11月から2023年2月まで)

萩原朔太郎(はぎわら さくたろう)



1886(明治19)年11月1日—1942(昭和17)年5月11日。

群馬県前橋市生まれ。詩人。

従兄である萩原栄次から短歌の手ほどきを受け、文学の道に入る。後に詩に転じ、1917(大正6)年に第一詩集『月に吠える』を刊行。口語の緊迫したリズムで、感情の奥底を鮮烈なイメージとして表現し、後の詩壇に大きな影響を与えた。さらに、1923(大正12)年に出版した『青猫』で、口語自由詩の確立者として不動の地位を得る。享年55。

広報用提供画像

下記の画像のうちご希望の画像番号と必要事項を「萩原朔太郎大全 2022」広報用画像使用申込書に記入し、担当宛に FAX または E-mail でお送りください。申込書を受け取り後に E-mail で画像を [jpg] でお送りいたします。

※掲載にあたっては、「前橋文学館」を写真提供元として表記してください。

※「萩原朔太郎大全 2022」の広報を目的とする場合に限り、画像をご提供いたします。

※Web 上に掲載する場合には、改ざん防止処理をお願いします。

※個人のブログや SNS への掲載や鑑賞等を目的とする場合にはご提供できません。



(A) 萩原朔太郎大全 2022 公式ポスター

※下記クレジット表記をお願いします。

原画：横尾忠則

※ポスターデザイン：榎本了壺



(B) 朔太郎大全 2022 公式エンブレム

※別送エンブレムガイドをご確認の上ご使用ください。



(1) 萩原朔太郎

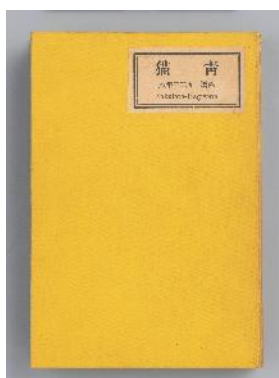
『月に吠える』

感情詩社・白日出

1917 (大正 6) 年 2 月

表紙絵：

田中恭吉「夜の花」



(2) 萩原朔太郎

『青猫』新潮社

1923 (大正 12) 年 1 月

装幀：萩原朔太郎



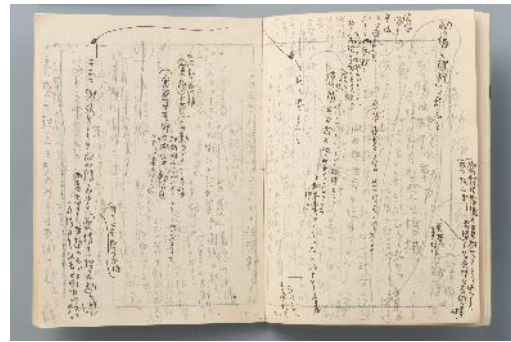
(3) 萩原朔太郎自筆原稿

「竹」(原稿 3 枚)

(『月に吠える』所収)



(4) 萩原朔太郎自筆原稿
「帰郷」(原稿2枚)
(『氷島』所収)



(5) 萩原朔太郎自筆原稿
「詩の原理」研究ノート



(6) 萩原朔太郎遺品
ギター (ツバメ印)



(7) マンドリンを持つ朔太郎
高校を中退して帰京している頃
1911 (明治44) ~ 13 (大正2) 年
頃、26~30 歳頃



(8) 萩原朔太郎肖像写真
大正半ば頃、30代半ば



(9) 萩原朔太郎肖像写真
1924 (大正13) 年頃、38 歳頃



(10) 萩原朔太郎肖像写真
晩年

「萩原朔太郎大全 2022」広報用画像使用申込書

萩原朔太郎記念・水と緑と詩のまち前橋文学館「萩原朔太郎大全 2022」事務局宛
FAX:027-235-8512 E-mail:press@sakutaro2022.com

使用画像番号： (A)(B) (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9) (10) <u>※ご希望の画像の番号に○をつけてください。</u>
掲載誌名：
発行日(発行予定日)：
発行元：
貴社(ご所属)名：
ご担当者名：
所在地：
TEL：
FAX：
E-mail：

朔太郎大全実行委員会事務局(前橋文学館内)
広報担当:高坂、柳田
〒371-0022 群馬県前橋市千代田町 3-12-10
TEL 027-235-8011 FAX 027-235-8512
URL <https://www.maebashibungakukan.jp/taizen>

